

期待が膨らむ新図書館、新中央公民館

3月8日に委員会が開催され、改築後の図書館・中央公民館の運営等について説明を受けた。

3年度から指定管理へ

【運営方式】

開館当初は、直営と業務委託により運営。令和3年度から指定管理に移行する予定。

【開館予定日】

中央公民館…5月7日
図書館……6月1日

質疑

指定管理のメリットは

【委員】 指定管理にするメリットは何か。より多くの事業が実施されるという見通しか。

【当局】 現在は臨時職員

- ・ 図書館と中央公民館の業務を、一体的に行う。
 - ・ 年間の開館日が多くなる。
 - ・ 図書館に書籍、文具等の販売コーナーを設置する。
 - ・ 図書検索、インターネット用のタブレットを設置する。
 - ・ 図書館システムを更新し、合せて読書通帳システムを導入する。
- 現在の配置であり、決定権がなく、独自事業に取り組むのは難しい状況にある。指定管理に移行することで、独自性を持つて判断することが可能となり、事業を進めやすくなると考えている。

◆スケジュール◆

年度	内容
令和元年度	R1.5.7 中央公民館開館 R1.6.1 図書館開館（予定） R2.1～ 新図書館システム導入 読書通帳システム導入
2年度	指定管理者決定
3年度～	指定管理者による運営に移行



どんな本が入るかな
(新図書館)



新たな視点で、町民に喜ばれる事業展開を。

どうなる大平橋

大平橋（吊り橋）の今後の方向性について説明を受けた。

太平橋、解体の方向へ

【経過】

『おしん』のロケ地にもなった大平橋（吊り橋）は、老朽化により、平成25年から通行止めとなっている。橋梁調査や補修・解体費用の把握を行い、朝日町と今後の対応について協議を続けてきた。



老朽化で通行止め

【検討結果・方向性】

- ・ 新大平橋の完成により、町道としての役割を終えている。
- ・ 観光面からも、費用対効果を踏まえ、取り壊しはやむを得ない。
- ・ 周辺住民の理解を得ながら、解体の方向で進めていく。



丁寧に説明し、理解を得られるよう対応を。

- その他
- 都市計画マスタープラン策定状況
 - 鮎貝中継ポンプ場移設の状況
 - 小中学校冷房設備整理事業の状況
- について説明があった。